なみなみ通信

福岡県水産海洋技術センター情報誌

なみなみ通信は、センターと各研究所からの情報を、漁業者や県民の方にお知らせする情報誌です。

VOL.67

発行 / 平成 29 年 5 月

全国豊かな海づくり大会福岡大会に向けた「リレー放流」

調査情報
- 海況情報 …… 2
- 有明海のノリ養殖 15 年ぶりに生産額 180 億円超え …… 2
- 28 年度 カキ養殖の生産状況 …… 3

なみなみニュース
- アユ遡上 好調 …… 3
- 10 月 28 日（土）･29 日（日）に 第 37 回全国豊かな海づくり大会福岡大会を開催 …… 4
- 糸島さわらフェア開催 …… 6
- 第２回福岡有明のり感謝祭開催 …… 6
- 第９回「豊前海一粒かき」キャンペーン in 沖縄 …… 6

研究員紹介
- 有明海研究所　技師　安河内　雄介 …… 7

普及だより
- 福岡市漁協小呂島支所加工部　島田　祐樹さん 第 22 回全国青年･女性漁業者交流大会で水産庁長官賞を受賞 …… 7

人事異動 …… 8

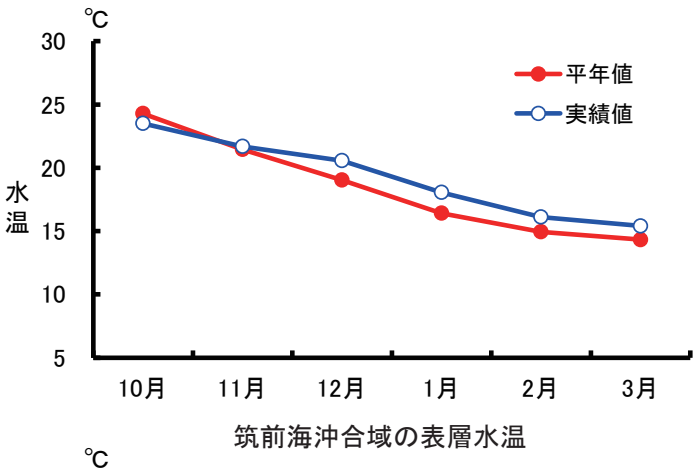
調査情報

海況情報

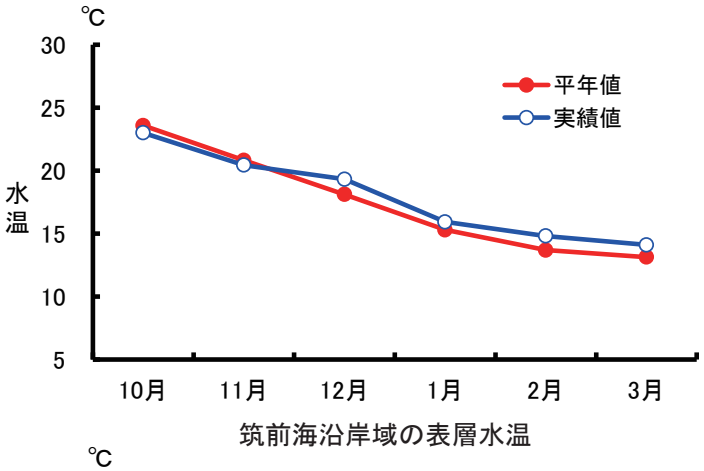
10～３月の表層水温は、筑前海の沖合域では、10月がやや低め、11月は平年並み、12月は甚だ高め、１月はかなり高め、２月と３月はやや高めでした。沿岸域では、10月がやや低め、11月は平年並み、12月はかなり高め、１～３月はやや高めでした。

有明海では、10月がかなり高め、11～１月はやや高め、２月と３月は平年並みでした。

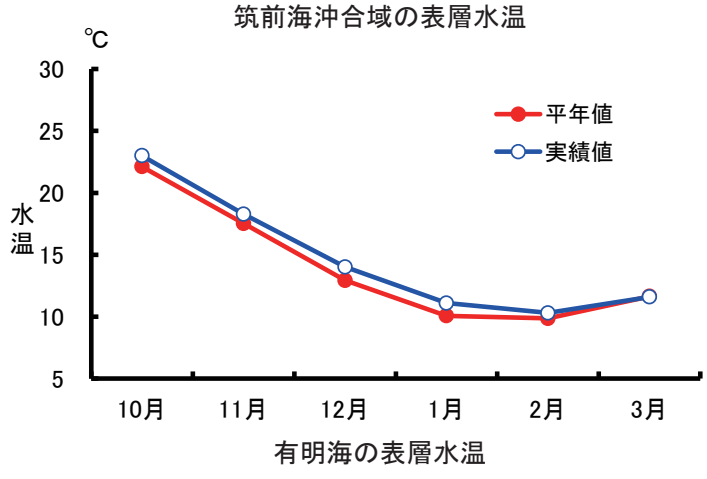
豊前海では、10月が平年並み、11月はやや高め、12～２月はかなり高め、３月はやや高めでした。



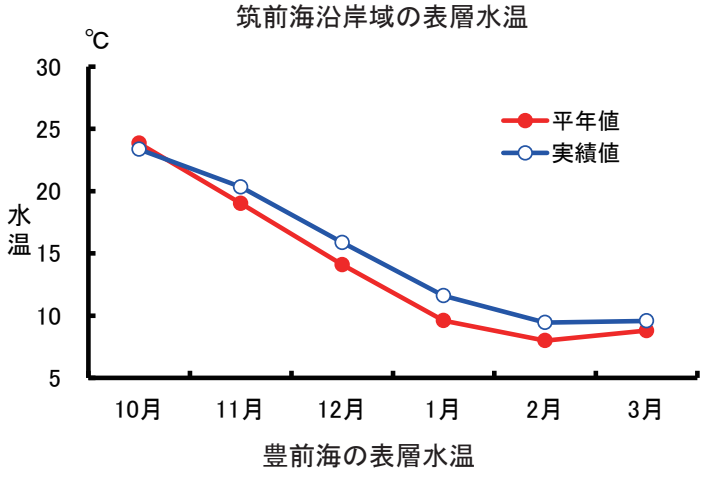
筑前海沖合域の表層水温



筑前海沿岸域の表層水温



有明海の表層水温



豊前海の表層水温

有明海のノリ養殖 15 年ぶりに生産額 180 億円超え

今期の有明海におけるノリ養殖は、生産枚数が13.4億枚（平年比104%）、生産金額が184億円（平年比134%）となり、３期連続で150億円を超えました。

秋芽網の生産量は、秋季の降水量が多かったことから、あかぐされ病の被害があり、平年の84%となりました。

冷凍網生産は、栄養塩の低下により冷凍網の出庫が延期されたことから、生産の開始が当初の予定より２週間遅れ、生産量の減少が心配されました。そのため、研究所では、海況やノリの生育状況の調査回数を増やし、養殖指導を強化しました。その結果、高品質なノリが生産され、20年ぶりの13円台という高単価となり、最終的に平成13年度以来の180億円を上回る生産額となりました。

（有明海研究所）

28年度 カキ養殖の生産状況

平成28年度の各海区におけるカキの生産状況は以下のとおりです。

【豊前海区】

カキは、海況が概ね良好に経過するとともに、クロダイの食害対策として豊前海研究所が開発した「束ね垂下」による養殖管理等が行われたことから、順調に生育しました。その結果、例年どおり11月から販売され、その後も４月まで安定して収穫されたため、豊前海区全体のカキの生産量は平年を上回る約1,462トン（平年比110%）となる見込みです。

【筑前海区】

今漁期の筑前海区全体のカキの生産量は、約582トン（平年比135%）となる見込みです。主要産地の生産は、糸島地区で、約495トン、唐泊地区で約62トンとなる見込みです。

また、宗像漁協津屋崎支所で、平成24年より取り組んできたカキの試験養殖が成功し、１月21日に「津屋崎千軒かき」のＰＲベントを開催し、大勢の客で賑いました。

津屋崎千軒かきのＰＲイベント（筑前海区）

（豊前海研究所、研究部）

なみなみニュース

アユ遡上 好調

近年、県内の主要河川である筑後川や矢部川では、アユの遡上量が大きく減少し、漁獲も低迷していました。そのため、内水面研究所では、資源を回復させるため、漁協と共同で、受精卵放流や産卵場造成、県内産アユの大型種苗放流などの様々な取組を行ってきました。また、海域及び河川の冬期における水温が高めで推移し、アユの成長に適していたこともあり、今年は、例年より早い３月上旬から遡上が始まり、４月末現在で筑後川では昨年度の６倍、矢部川では３倍のアユが遡上しています。

遡上は５月末頃まで続きますので、遡上量はさらに増え、久しぶりの好漁が期待されます。

採捕した遡上アユ

10 月 28 日（土）・29 日（日）に
第 37 回全国豊かな海づくり大会福岡大会を開催

・大会内容を決定

「全国豊かな海づくり大会」は、水産資源の保護・管理と海や河川の環境保全の大切さを広く国民に伝えるとともに、漁業の振興と発展を図ることを目的に、例年、天皇皇后両陛下の御臨席のもと開催されている大会です。３月27日に福岡県実行委員会（会長：小川洋県知事）が開催され、各行事の演出方法などを具体化する「実施計画」を決定しました。各行事の概要は次のとおりです。

【式典行事】

〔会場〕宗像ユリックス本館（宗像市）

〔内容〕功績団体等の表彰、最優秀作文の発表、クロアワビ、ノリ、アサリ、オイカワのお手渡し、３海区若手漁業者のメッセージ発表など

【海上歓迎・放流行事】

〔会場〕鐘崎漁港（宗像市）

〔内容〕トラフグ・マダイ稚魚の放流、漁船による海上パレードなど

【関連行事】

〔会場〕宗像ユリックス屋外施設（宗像市）、天神中央公園（福岡市）、むつごろうランド（柳川市）、うみてらす豊前（豊前市）、道の駅くるめ（久留米市）の計５会場

〔内容〕本県水産業、環境保全の取組み紹介、県産農林水産物の販売、ステージイベント、式典行事と海上歓迎・放流行事の放映

大会まで半年を切りました。県では、実りある大会となるよう、万全の準備を進めてまいります。皆さん一緒に、大会を盛り上げていきましょう。

式典行事（第 36 回山形大会）

漁船による海上パレードのイメージ（みあれ祭）

稚魚の放流（豊かな海づくりフェスタ）

関連行事のイメージ（豊かな海づくりフェスタ）

・機運を高める取組み「リレー放流」の実施

豊かな海づくりへの意識向上や水産業に対する理解促進を図り、大会に向けて機運を高めるため、漁協、市町等の協力のもと、園児・児童による稚魚等の放流を県内各地でリレー方式により実施しています。

平成28年10月29日（日）に宗像市で実施された「豊かな海づくりフェスタ」（海づくり大会プレイベント）を皮切りに大会開催までに県内約20回を計画しています。

柳川よかもん祭りでのリレー放流（柳川市）

ソフトバンクホークス選手とリレー放流（筑後市）

［お問い合わせ先］第37回全国豊かな海づくり大会福岡県実行委員会事務局
［TEL］092-643-3576

僕も海づくり大会に行くよ！
是非、遊びにきてね。
大会の詳細は、インターネットで
検索してね！

福岡　海づくり大会　検索

大会テーマ
育もう 海（うみ） 人（ひと） 地域（ちいき） みんなの未来

大会キャラクター
福岡県広報部長
「エコトン」

糸島さわらフェア開催

サワラは、全長１ｍになる回遊性の魚で、主に切り身で販売されています。

福岡県は全国有数のサワラの産地ですが、このことは県内でもあまり知られていません。このため、旬のサワラの美味しさを知ってもらうために、２月２日～14日の間、「ふくおか地魚応援の店」15店舗が、糸島産のサワラを使った自慢の料理を提供する「糸島さわらフェア」を開催しました。

サワラの特徴は、きめ細やかな脂ののりと柔らかな食感です。各店舗では、この特徴を生かした刺身、炙り、寿司、さわら飯、西京焼き、ムニエルなどが提供されました。お客様から、「こんなに美味しい魚だとは思わなかった」「脂がとてものっていた」などの好評なご意見を、店舗の方からは「旬のサワラは美味しいので、是非皆さんに知ってほしい」「サワラは和食だけでなく洋食の食材として非常に合う。今後も是非使用したい」などの声を頂きました。

今後も、県民の皆さんに美味しい地魚を知って、食べてもらえるイベントを開催する予定です。

刺身と炙り

寿司

第２回福岡有明のり感謝祭 開催

３月20日に「第２回福岡有明のり感謝祭」が柳川市で開催されました。福岡有明海漁業協同組合連合会が、昨年に引き続き催したもので、平成28年11月に新たに命名された「福岡有明のり」の販売の他、のりすき体験、絵巻寿司作り、味比べによるノリの産地当てクイズなどのイベントが行われました。来場者数は、800名を超え、多くの方々に「福岡有明のり」をＰＲすることができました。

有明海漁連西田会長あいさつ

第９回「豊前海一粒かき」キャンペーン in 沖縄

「豊前海一粒かき」は、生産量の８割以上を消費者へ直接販売しているため、消費者へのＰＲが極めて重要となっています。さらなる認知度向上及び販売拡大のため、３月に沖縄県で生産者主催によるＰＲキャンペーンを開催しました。

今回が９回目となる沖縄県でのキャンペーンでは、販売前に200人以上の行列ができ、豊前海一粒かきのファンが着実に増え、認知度が向上していることが伺えました。

「豊前海一粒かき」キャンペーン

研究員紹介

有明海研究所　技師　安河内　雄介

はじめまして。

平成 28 年度から有明海研究所で採用となりました安河内（やすこうち）雄介と申します！ノリ養殖を担当しています。福岡県の水産業に携わることができ大変うれしく思っています。

大学では水産経営について勉強し、卒業してからは、食品の表示に関する仕事を６年していました。今まで現場に出たことがなく、おまけに性格がのんびりしているため、先輩方についていくことで精一杯の状況です。写真のとおり毎日気合いを入れて、がんばっています！

趣味は、釣りとダイビングです。昨年の夏は小笠原諸島へ旅行し、満喫してきました。福岡を始め九州にはいろんな島があるので毎年１島を目標に訪問できたらと思います。

調査業務は、気象や潮を考えながら行うことが多く、計画を立てるのはなかなか難しいですが、これから徐々に勉強していき、漁業者さんに少しでも貢献できるようがんばっていきたいと思います！よろしくお願いします！

普及だより

福岡市漁協小呂島支所加工部　島田　祐樹さん
第 22 回全国青年・女性漁業者交流大会で水産庁長官賞を受賞

３月１日と２日の２日間にわたり、東京都で第 22 回全国青年・女性漁業者交流大会（JF 全漁連主催）が開催されました。

福岡県からは、福岡市漁協小呂島支所加工部の島田祐樹さんが「島の知恵でしまづくりー６次産業化への挑戦ー」というテーマで発表を行い、水産庁長官賞を受賞しました。

発表では、島の伝統料理から着想を得て開発したブリをフレーク状に加工した商品「小呂島漁師のしまごはん」を紹介し、これまでの活動で２万５千本を売り上げたことを報告しました。

離島という不利な条件を克服する工夫や漁業者自らが行った販路開拓、新たな雇用を生み出したこと等が認められ、今回の受賞となりました。

「水産庁長官賞」を受賞した島田氏（中央）

人事異動

（平成29年4月1日付け）

○水産海洋技術センター

新　所　属		職　名	氏　名	旧　所　属
企画管理部	総務課	事務主査	原　美佐子	福岡県土整備事務所前原支所
		技能員	横坂　武志	再任用
研究部	資源環境課	専門研究員	池浦　繁	漁業管理課
		技　師	中山　龍一	新規採用
	資源環境課（げんかい）	参事補佐	鍋島　信也	漁業管理課（しんぷう）
		主任技師	小西　祐介	豊前海研究所(ぶぜん)
		技　師	生田　航海	新規採用
		技術主査	林　照彦	再任用
	浅海増殖課	研究員	後川　龍男	園芸振興課

○有明海研究所

新　所　属		職　名	氏　名	旧　所　属
	のり養殖課	課　長	藤井　直幹	漁業管理課
		専門研究員	徳田　眞孝	水産振興課
	のり養殖課（ありあけ）	主任技師	松下　渥史	水産海洋技術センター（げんかい）
	資源増殖課	研究員	上田　拓	水産振興課

○豊前海研究所

新　所　属		職　名	氏　名	旧　所　属
	漁業資源課	課　長	中川　清	豊前海研究所（浅海増殖課長）
		企画主査	渡瀬　宗則	京築県土整備事務所
		技　師	黒川　皓平	新規採用
	漁業資源課（ぶぜん）	主任技師	西畠　徳洋	有明海研究所（ありあけ）
	浅海増殖課	課　長	宮本　博和	有明海研究所

○内水面研究所

新　所　属		職　名	氏　名	旧　所　属
	内水面研究所	事務主査	佐藤　志保	那珂県土整備事務所

△転出

新　所　属		職　名	氏　名	旧　所　属
農林水産部水産局	漁業管理課	漁業調整係長	宮内　正幸	豊前海研究所
		技術主査	渕上　哲	有明海研究所
	漁業管理課（しんぷう）	参事補佐	松村　鉄之	水産海洋技術センター（つくし）
	水産振興課	課長技術補佐	江藤　拓也	豊前海研究所
		漁場整備係長	篠原　直哉	有明海研究所
		技術主査	杉野　浩二郎	水産海洋技術センター
		技術主査	熊谷　香	水産海洋技術センター
		主任技師	日髙　研人	水産海洋技術センター
総務部	西福岡県税事務所	事務主査	原　宏美	水産海洋技術センター
県土整備部	朝倉県土整備事務所	事務主査	竹中　由美	内水面研究所

□退職（平成29年3月31日付け）

旧　所　属	職　名	氏　名
水産海洋技術センター	技術主査	寺井　千尋
	参事補佐	林　照彦
有明海研究所（再任用）	技能員	小山田　清子
豊前海研究所（再任用）	主任主事	坂井　忠成

＜編集発行＞福岡県水産海洋技術センター企画管理部企画情報課
〒819－0165　福岡市西区今津1141－1
TEL　092－806－5251　FAX　092－806－5223
センターホームページ　http://www.sea-net.pref.fukuoka.jp/
携帯電話対応　http://www.sea-net.pref.fukuoka.jp/mobile/